

1. テキスト

『場所』四 260頁12行目~261頁14行目

2. キーワードないしキーセンテンスと考察ないし問い

【キーセンテンス】

261頁12行目

「併し特殊概念は更に特殊なものに対して、一般概念とならねばならぬ。」

【問い】

読書会では一例として、小語→ソクラテス、媒語→人間、大語→死すべきものという例があげられた。恐らく今大語の位置にあるものが次に媒語となって、さらに大きな述語的なものに包摂されてしまうであろう。読書会において個物を主語の方向に向かっていくら語りつくしても個物に到達不可能であるということは何度も確認している。ならば述語の方向に向かって今度は個物に到達しようと試みているわけであるが、それは果たして可能なのだろうか。